

エルヴィスの信念の強さ&反骨精神があらわ 名曲「トラブル」ライブシーン本編映像解禁



映画『エルヴィス』場面写真 (C) 2022 Warner Bros. Ent. All Rights Reserved

バズ・ラーマン監督最新作となるエルヴィス・プレスリー伝記映画『エルヴィス』より、エルヴィスが周囲からの圧力に屈さず、自身の音楽スタイルを貫きながら名曲「トラブル」を披露するライブシーンが解禁された。

【動画】観客熱狂！ オースティン演じるエルヴィス、名曲「トラブル」を披露 (ctrl+リターン)

世界史上最も売れたソロアーティストで、若くして謎の死を遂げたエルヴィス・プレスリー。彼がいなければ、ビートルズも、クイーンも存在しなかった。本作は、そんなエルヴィスの〈誰も知らなかった〉真実の物語を、『ムーンラン・ルージュ』のバズ・ラーマン監督が映画化したミュージック・エンタテインメント。数々の逆境を打ち破り世界を変えていくエルヴィスの生き様が、多くの伝説的なライブとともに描かれる。

若い無名の歌手だった頃から時代を背負うアイコンになるまでのエルヴィス役に抜きされたのは、新星オースティン・バトラー。ほぼ全編にわたり、吹き替え無しで本人になりきり歌唱とダンスを披露している。若き日のエルヴィスの才能をいち早く見つけ、生

涯にわたりエルヴィスのマネージャーを務めた強欲で悪名高いトム・パーカー役を演じるのは、二度のアカデミー賞受賞歴を誇るトム・ハンクス。

それまで誰も聴いたことのない音楽“ロック”と腰を小刻みに揺らす独特のダンスで、当時瞬く間に全米中の若者を熱狂の渦に巻き込んだエルヴィス。同時にその過激なパフォーマンスは、保守的な大人たちから反発を呼び、世間の非難を一身に浴びることになる。今回解禁されたのは、そんなエルヴィスが、故郷メンフィスのラスウッド・パークスタジアムで、自身の音楽スタイルを貫きながら名曲「トラブル」を披露するライブシーン。

会場には彼を監視するため警察が出動しており、緊迫感漂う雰囲気。エルヴィスはライブの直前に「指一本動かせば逮捕だ」とセクシーで特徴的なダンスを禁じられちゃうが、ステージに立つと「誰に何を言われようと、自分の心に従え」と堂々と宣言。そして「本物のエルヴィスを見せてやる！」の言葉とともに名曲「トラブル」のパフォーマンスを始めると、会場に集まった観客の興奮は一気に最高潮へ。

この日の圧巻のパフォーマンスはさらなる熱狂を生み、音楽で世界を一変させたエルヴィスの伝説を全米中に知らしめることに。圧力に屈さず自分の信念を貫くエルヴィスの反骨精神と、その魅力で全米の若者を熱狂させる様子が映し出された迫力満点の映像となっている。

同シーンについて、エルヴィスを演じたオースティンは「とても印象に残っています。このライブの実際の映像は残っていないので、なるべくエルヴィスらしさを追求するためにたくさんの研究を重ねました。映像が残っていない楽曲をパフォーマンスするときは、別の曲の動画や音声、当時の写真などあらゆるものを研究したのです。エルヴィスがマイクを握ったままステージで寝転ぶ写真を見つけ、そのイメージをパフォーマンスに取り入れたり、同じ曲の中でも曲調が変わるごとにアクションを変えたり——そんな作業を積み重ねていきました」とコメント。役作りに約3年もかけ、入手できた資料全てを参考に研究を重ね、このライブシーンの撮影に挑んだことを明かしている。

なお本作は、ドルビーシネマ、IMAX、ドルビーアトモス、DTS:X、ScreenX で上映されることも決定。圧巻のライブパフォーマンスを、最高の映像と音響で体験できるチャンスとなっている。